



『僕には鳥の言葉がわかる』



鈴木 俊貴／著
 小学館

プリプリの芋虫が美味しそうに見え、長蛇の列にはジャージャー(へびだ!)と言いそうになる。動物言語学を切り拓いた著者の視点が完全にシジュウカラで面白い!

『札幌誕生』



門井 慶喜／著
 河出書房新社

幕末から昭和にかけて、未知の北海道で生きた5人の男女。島義勇、内村鑑三、バチラー八重子、有島武郎、岡崎文吉。それぞれの熱き開拓の物語に迫る。



『うどんねこ 4』



スケラッコ／さく・え
 ポプラ社

なんでもにこめるまほうつかいのニコミン。うどんねこをにこんで、カレーうどんねこにしてみたい。だいにんきのうどんねこシリーズ。

この他にもたくさんあります。

【訂正】

2026年8月号に掲載しました2026年6月末現在の人口に誤りがありました。次のとおり訂正するとともに、お詫び申し上げます。

2026年6月末現在

■人口 2,732(－3)
 男 1,339(－2)
 女 1,393(－1)

・下川町に
 青少年健全育成事業として
 須藤 喜久男(札幌市)
 ・山びこ学園に
 上名寄老人クラブ

皆様から寄付をいただきました。ありがとうございます。(敬称略)
 (R8年6月16日～R8年8月15日受領分)

ご結婚おめでとうございます
 新住所 氏名 住所
 南町 岡崎 星成 幸町
 吉田 七海 東京都

戸籍の窓口 (敬称略)
 (7月11日～8月10日受付)

編集後記

2026年7月末現在

人の動き()は前月比

■人口 2,728(－4)
 男 1,337(－2)
 女 1,391(－2)
 ■世帯 1,565(－7)
 出生 1 死亡 2
 転入 12 転出 15

交通事故死ゼロ日数
 4068日

今月号では、「夏休みプール教室」の取材に行きました。小学生たちが元気に泳ぐ姿を見て、自分の子ども時代を思い出しました。
 私の夏休みの思い出といえば、自由研究で「世界の国旗」を描いたことです。夏休みの初日から少しずつ描き始めましたが、途中でプールなどに遊びに行ってしまうことも多く、なかなか思うようには進みませんでした。当時のプールは、現在の「ハピネス」がある場所にありました。屋外プールで、屋根もなく、強い日差しを浴びながら、水面の上を蜂が飛び回る中で泳いでいたことを懐かしく思います。
 話を戻しますが、国旗を描き進めていくと、複雑な模様のもので多く、だんだん面倒になってしまいました。さらに途中で夏風邪をひいて熱を出してしまい、結局最後まで完成したのかどうかは、今となっては定かではありません。今年から9月に、まちを代表するイベントの一つ「しもかわうどん祭り」が開催されます。まだまだ残暑が続くことが予想されますので、皆さまも体調に気を付けながら乗り切りましょう。
 (T・K)